

東京都立高等学校における 学校心臓検診21年のまとめと考察

東京都医師会 弓倉 整

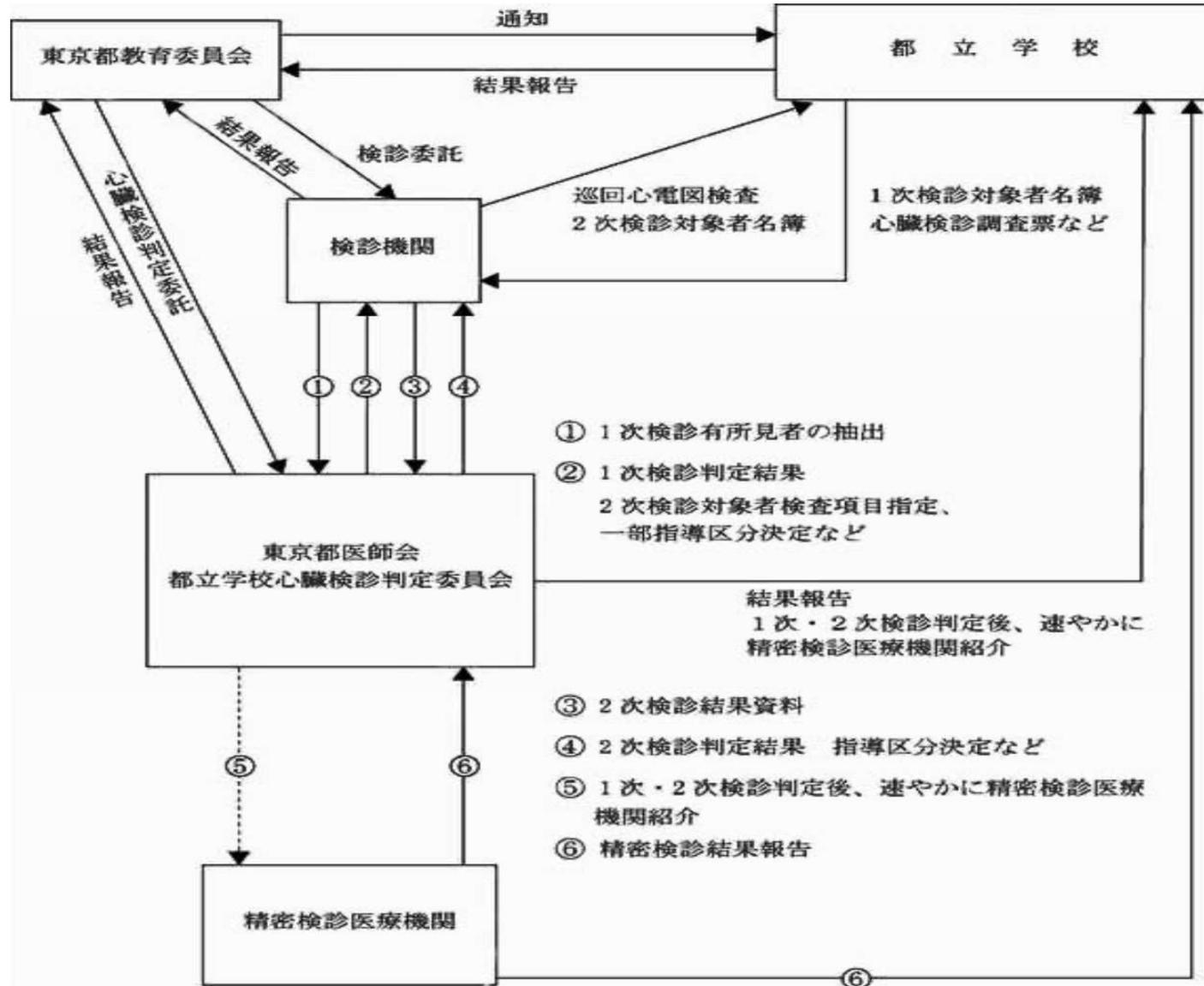
東京都医師会都立学校心臓検診判定委員会

斎藤正敏、浅井利夫、小川俊一、佐地 勉、赤木美智男、村上保夫、伊藤三吾、鮎沢 衛、唐澤賢祐、秋本かつみ、山岸敬幸、城所功文、泉田直己、小島好文、加藤仁志、能登信孝、山内邦昭

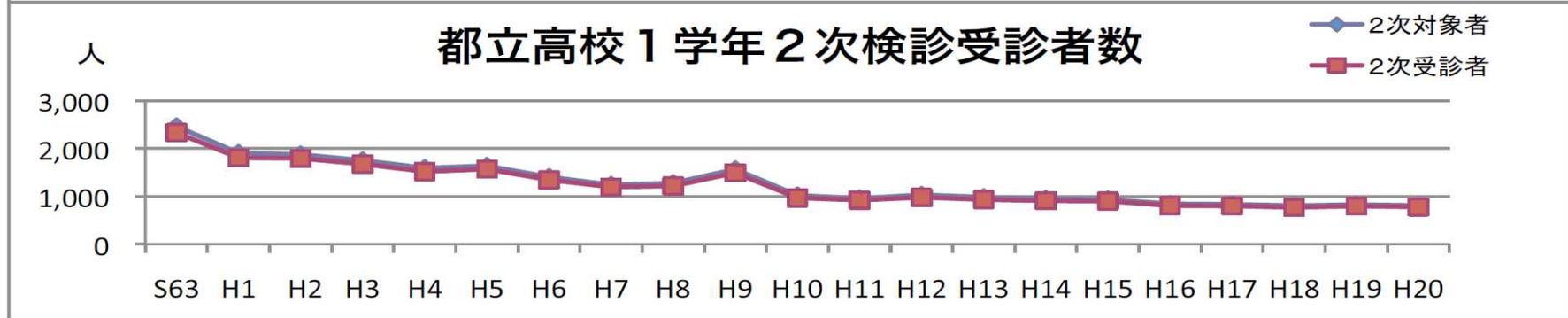
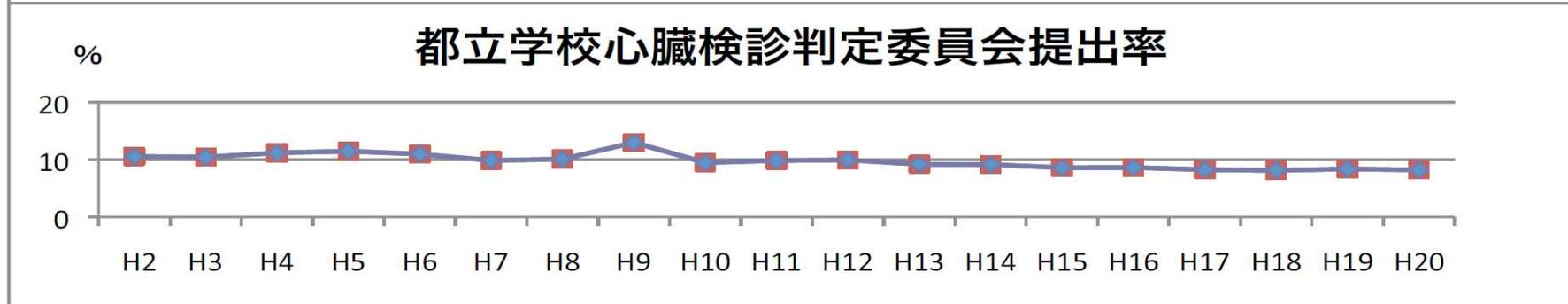
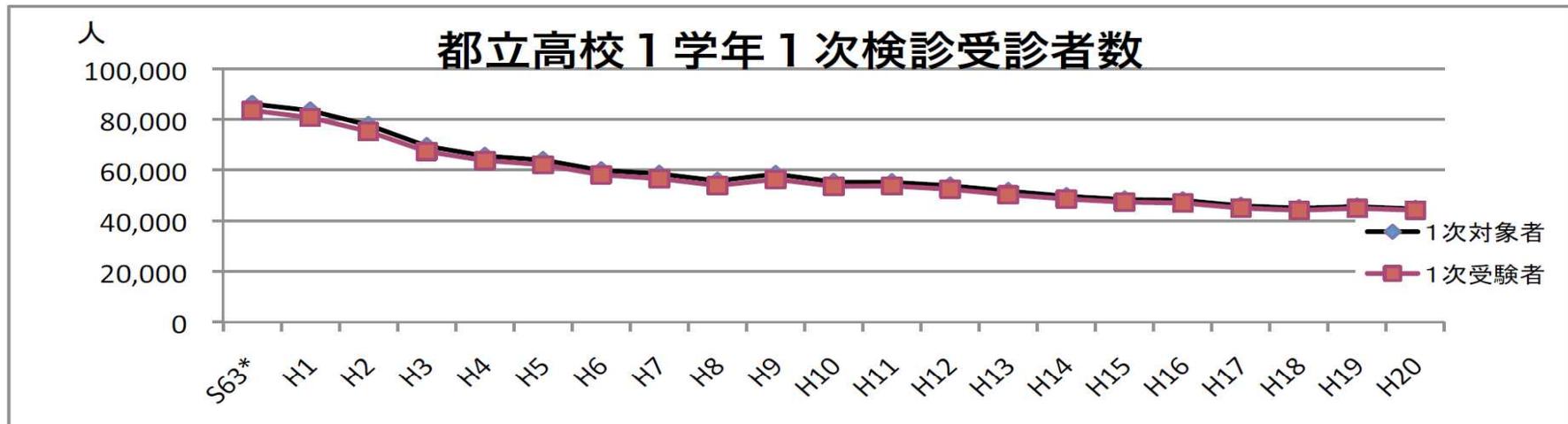
東京都医師会都立学校心臓検診について

- 昭和63年度より、東京都の委託を受け、東京都医師会が受託事業として開始した
- 医師会内に、都立学校心臓検診判定委員会を設置、心臓検診判定マニュアルを作成し、それに基づく心電図判定、2次検診受診者抽出、管理基準判定、精密検査の医療機関紹介を行ってきた
- 検診受診者数は、21年で延べ1,241,403人にのぼり、ほとんどは都立高等学校の高校生である。
- 今回は、他学年、中等学校を除く、都立高校1年生、延べ1,188,571人の結果について分析・検討した

都立学校心臓検診の流れ

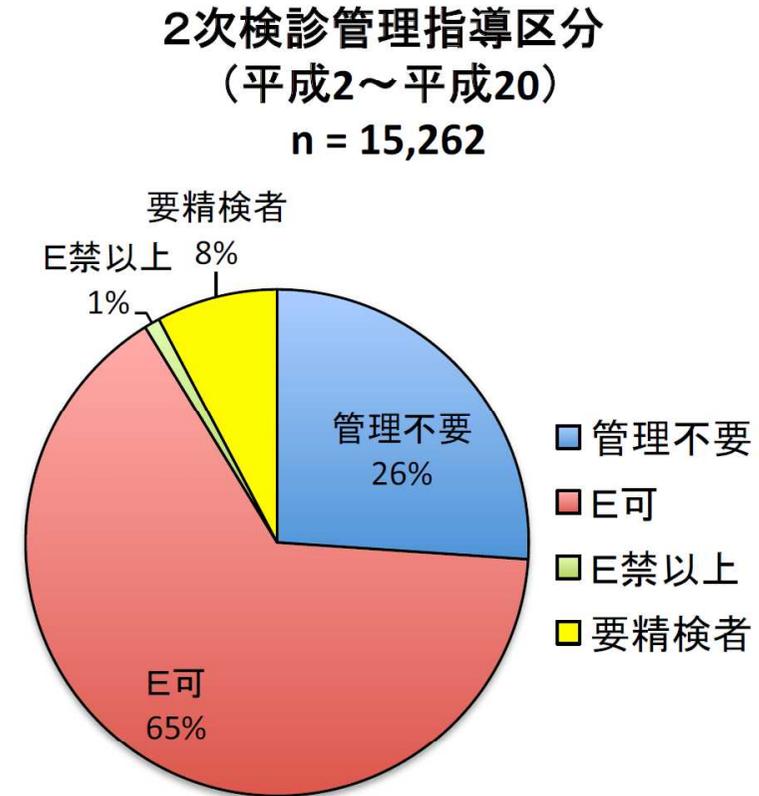
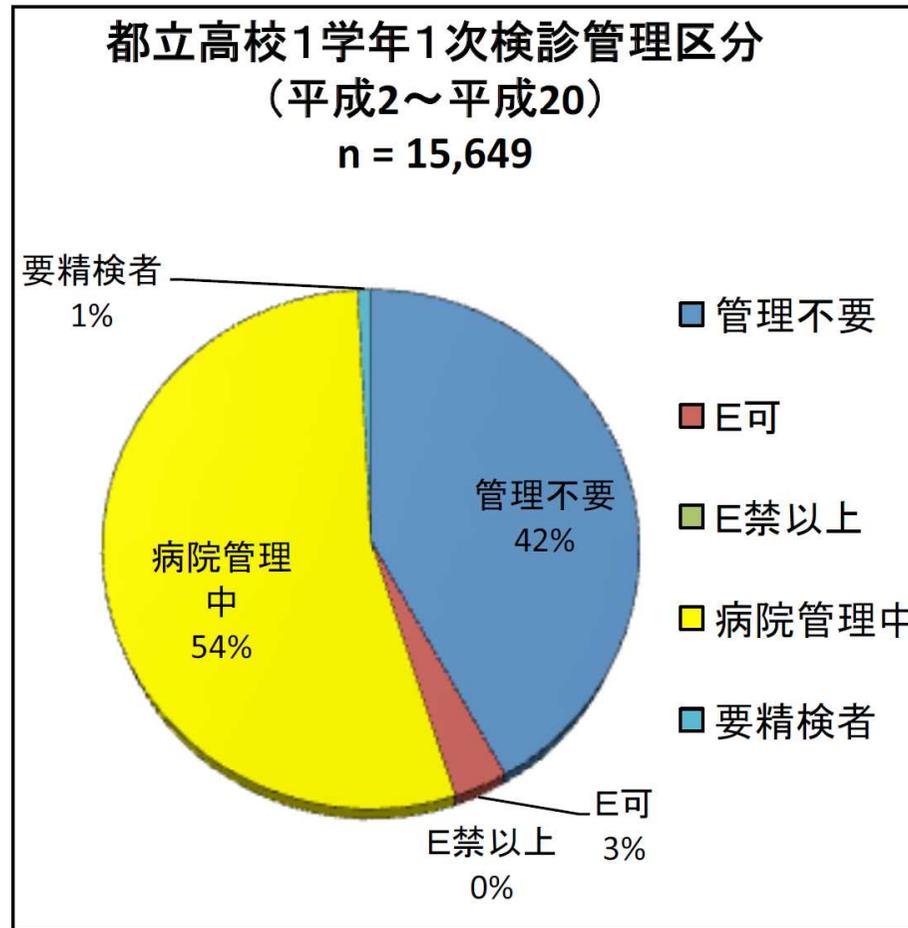


第40回全国学校保健・学校医大会



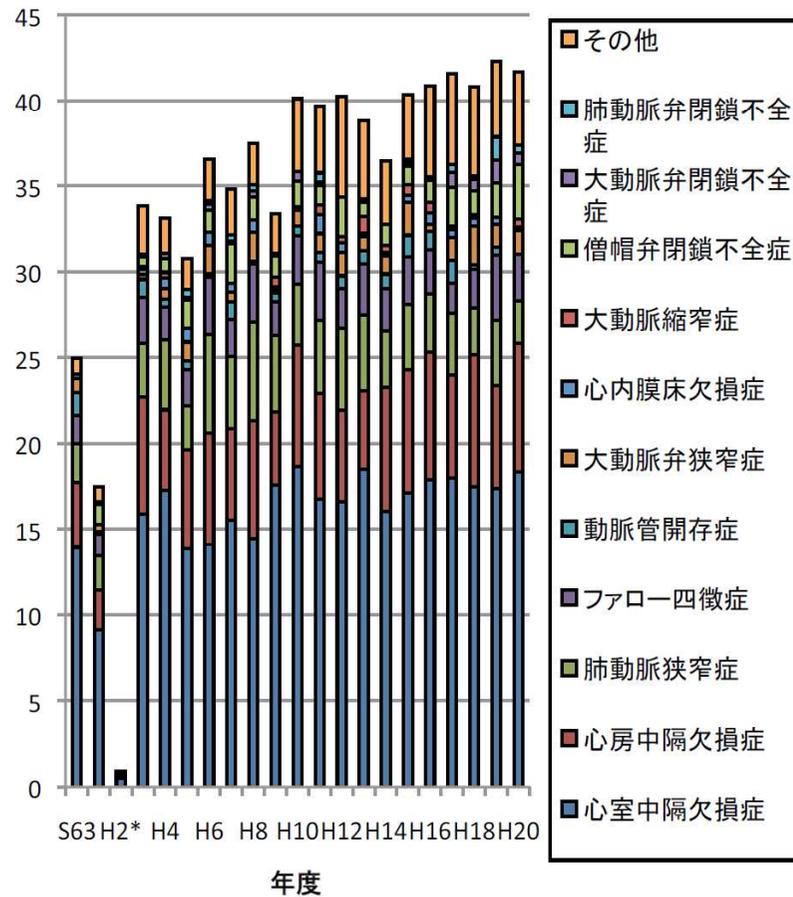
第40回全国学校保健・学校医大会
第40回全国学校保健・学校医大会

都立高校1年の管理指導区分

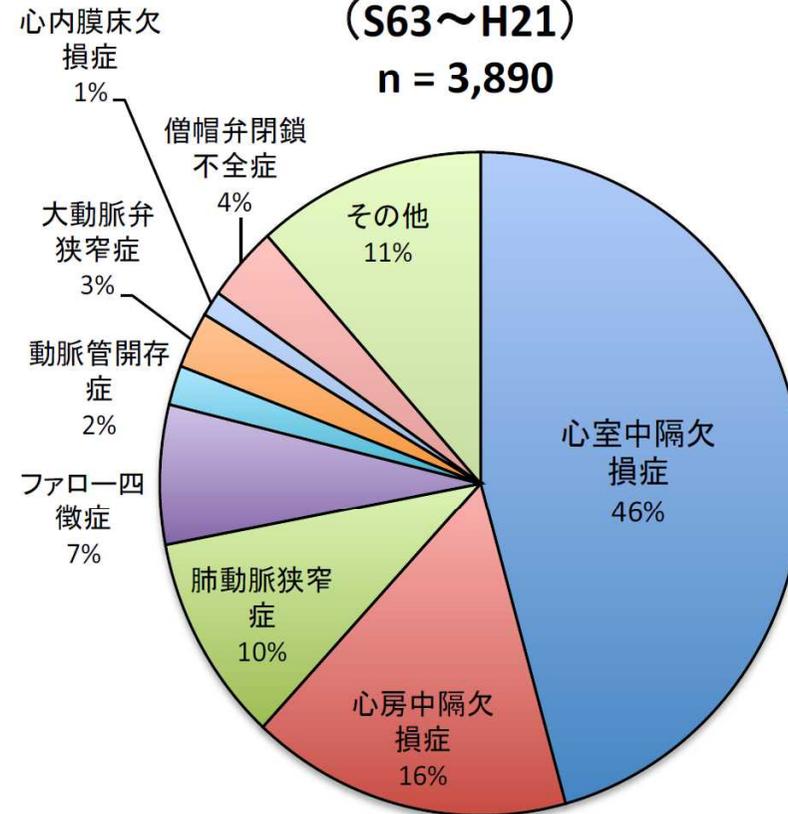


都立高1年 先天性心疾患

都立高校1学年 先天性心疾患
人(対1万) (受診者1万人対人数)

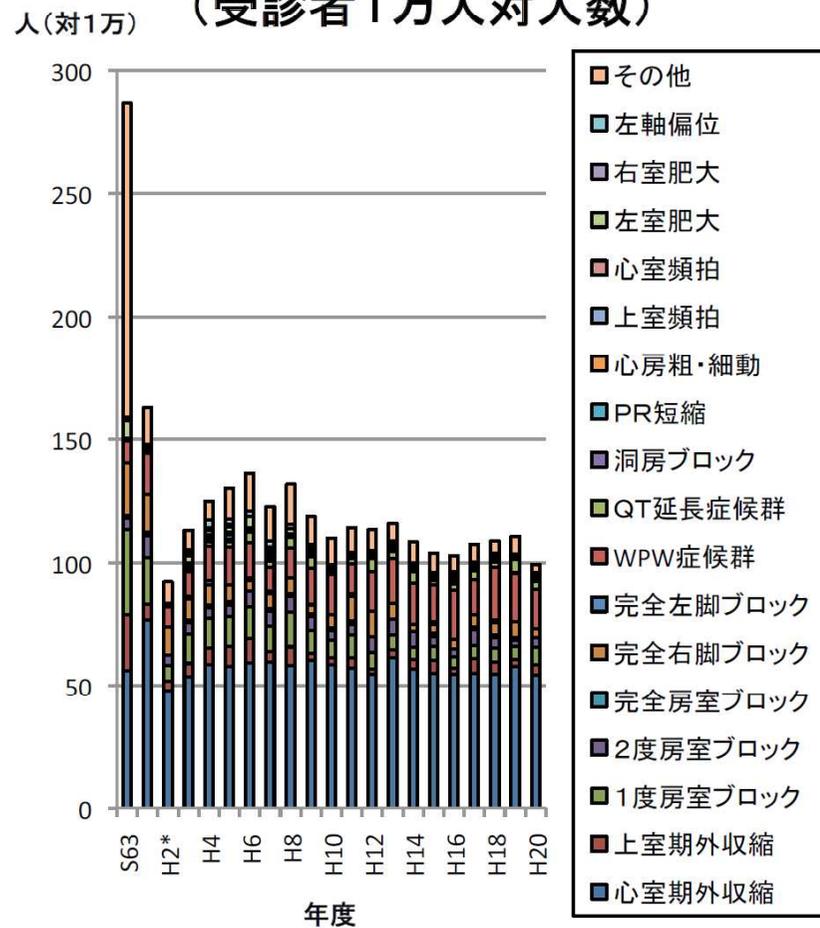


都立高校1学年先天性心疾患
(S63~H21)
n = 3,890

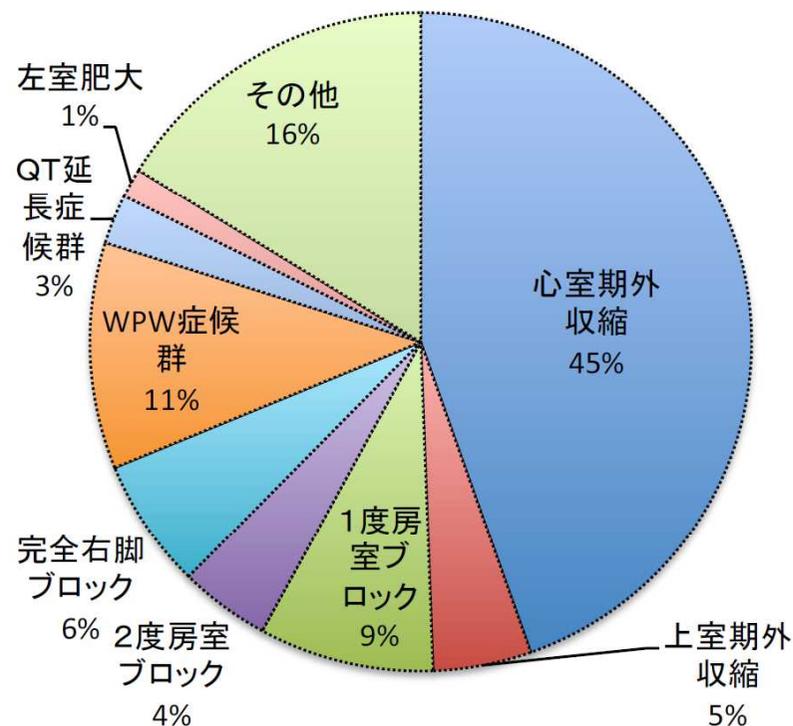


都立高校1年 心電図異常

都立高校1学年 心電図異常
(受診者1万人対人数)

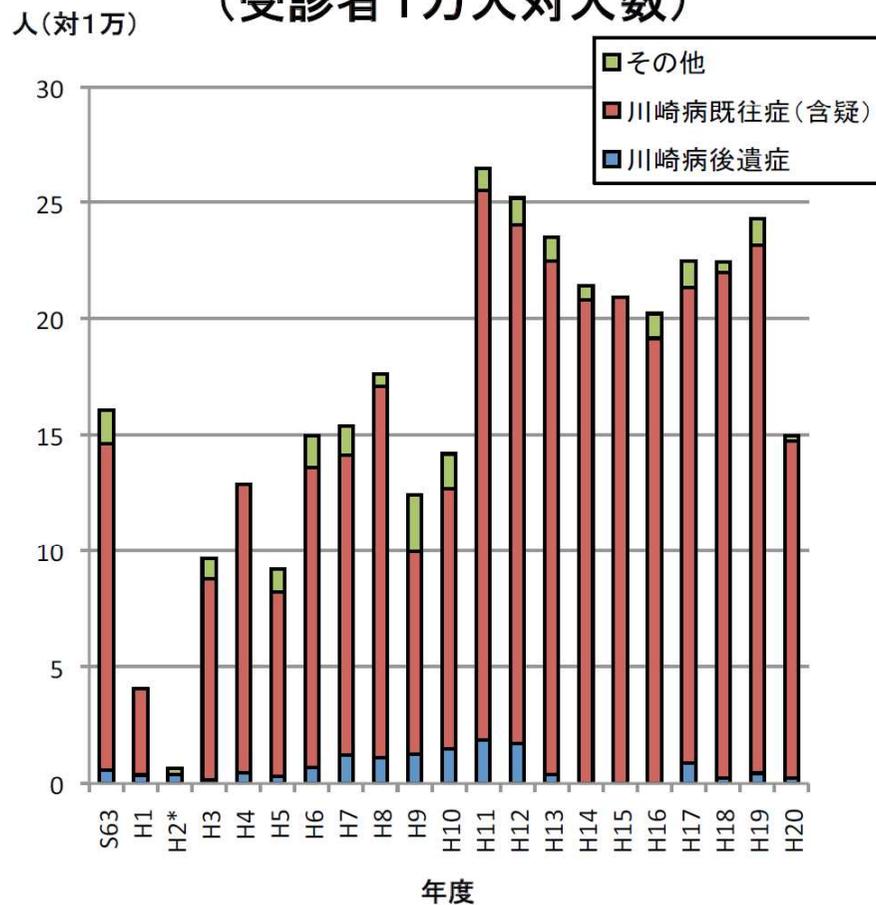


都立高校1学年心電図異常
(S63~H21)
n=15,434

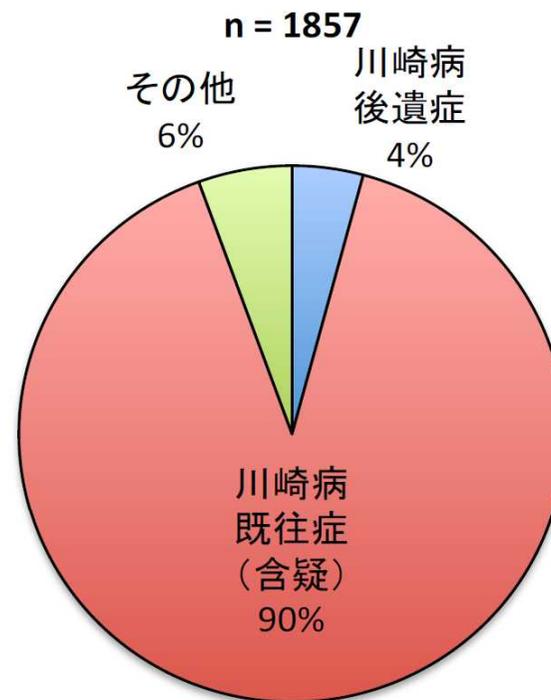


都立高校1年 後天性心疾患

都立高校1学年 後天性心疾患
(受診者1万人対人数)



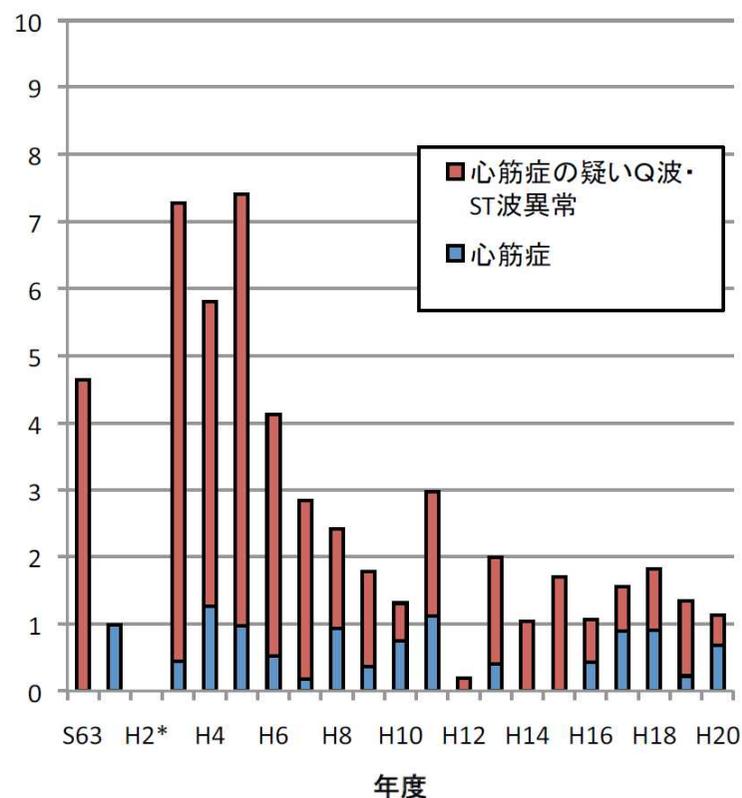
都立高校1学年後天性心疾患
(S63~H20)



都立高校1年 心筋症

都立高校1学年 心筋症

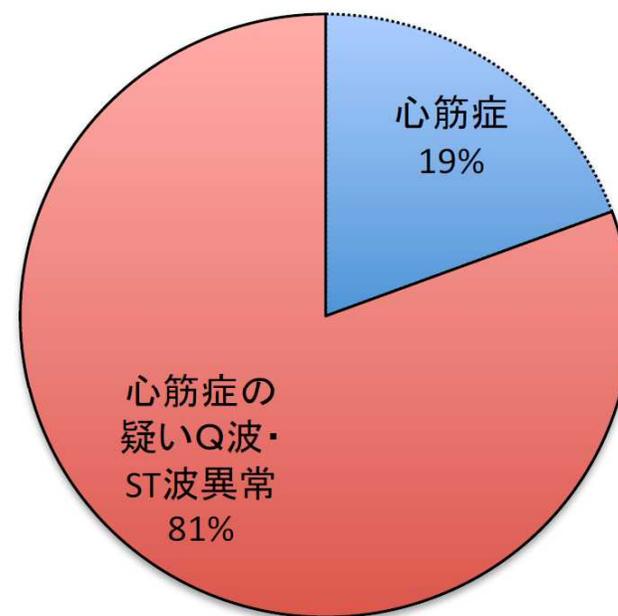
人(対1万) (受診者1万人対人数)



都立高校1学年心筋症合計

(S63~H20)

n = 320



結語

- 東京都医師会が東京都の委託を受けた都立学校心臓検診の高校生1年に対する21年にわたる結果をまとめた
- 1次検診総受診者数は約120万人にのぼり、1次検診の時点で管理指導区分を受けたのは15,649名で、約1.31%だった
- 1次検診で病院管理を受けている者が54%だった。高校では心臓病調査票の充実が必要で、高校生の心臓検診の特殊性が示された
- 2次検診は1.28%の15,262人が受診し、管理不要26%、E可65%、要精検8%だった
- 先天性心疾患では、心室中隔欠損症、心房中隔欠損症、肺動脈狭窄症、ファロー四徴症の順に多かった。ファロー四徴症の多いのが印象的である
- 心電図異常では、心室期外収縮、WPW症候群、1度房室ブロック、完全右脚ブロックの順に多かった
- 川崎病後遺症（疑い含む）は毎年、ある程度の頻度で見つかっている
- 心筋症は、検診で明らかに心筋症と診断のできるものは限られているが、毎年若干名の指摘がなされている
- 21年の都立学校心臓検診で、学校管理下の心臓系突然死の連絡が東京都教育庁からもたらされたのは2例、さらに1例緊急蘇生で回復した事例があり、高校生における心臓検診の充実が必要である